

「当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会 を目標として～に基づく基本計画」の指標の調査について

1 指標について

「障がい^{しょうがい}の種類^{しゅべつ}や程度^{ていど}に関わらず^{かかわらず}、誰も^{だれ}が住み慣れた場所^{すまなれたばしょ}で、その人らしい生活^{ひとらしいせいふつ}を送り^{おく}、共に暮らすことのできる社会^{ともぐさのしゃかい}（地域共生社会^{ちいききょうせいしゃかい}）にどれだけ近づいているか」を表す数値^{すうち}として、計画^{けいかく}に載せています。

昨年度^{さくねんど}、部会^{ぶかい}で出されたご意見^{ごいけん}を、障害者施策審議会^{しょうがいしやしきしんぎかい}に報告^{ほうこく}し、令和9年度^{れいわねんど}の中間見直し^{ちゅうかんみなお}の際^{さい}に新しく計画^{けいかく}に載せる指標^{しひょう}を作りました。

現在^{げんざい}は、調査^{ちようさ}に向けた準備^{じゅんび}を進めています。

《すでに計画に載せている指標》

障害のある人^{しょうがいのひと}が身近で普通に生活しているのが当たり前^{あたりまえ}と思う割合^{わりあい}

《新しく計画に載せる指標》

障害のある人^{しょうがいのひと}が日ごろの生活^{せいふつ}のなかで不自由^{ふじゆう}を感じている割合^{わりあい}

2 指標の調査について

障害当事者^{しょうがいとうじしや}、家族^{かぞく}、支援者^{しえんしや}などに対して^{たいして}、3つの方法^{ほうほう}で調査^{ちようさ}します。

- (1) アンケート調査^{ちようさ}は、アンケート用紙^{ようし}、インターネット^{でんし}、電子メール^{しやう}などを使用^{しやう}します。
- (2) インタビュー調査^{ちようさ}は、対面^{たいめん}またはオンライン^{おこな}で行います。
(県の職員^{けんしやくいん}がインタビュー^{おこな}を行う予定^{よてい}です)
- (3) 県民ニーズ調査^{けんみんちようさ}を行います。

3 委員の皆様^{いゐんみなさま}にお願いしたいこと^{ねが}

- ・インタビュー^うを受けていただける方^{かた}は、ご協力^{きやうりよく}をお願い^{ねが}します。
- ・インタビュー^うを受けてくださる方^{かた}が周り^{まわ}にいたら教え^{おし}てください。
- 6月末頃^{がつまつころ}に協力^{きやうりよく}が可能^{かのう}かどうかお尋ね^{たず}します。
- 神奈川県内^{かながわけんない}に住んでいる方^すが調査^{かた}の対象者^{ちようさたいしやうしや}です。
- ・調査^{ちようさ}を受けたくない方^うもいるかもしれませんが、無理^{むり}にお願い^{ねが}をする必要^{ひつよう}はありません。